



## 源ちゃん 長年ご苦労さんでした 前会長を讃える ～ 桑原 巖 さん



すぐる 12 日、小林源一前会長の長年のご苦労を労って、白馬村の鈴木さん宅で『源ちゃんご苦労さん』会が開かれ、集まった会員は 10 人と少な目でしたが、賑やかに行われました。会は鈴木さん宅の庭先で焼肉を囲んで、源ちゃんのご苦労話やらもろもろの話で夜更けまで盛り上がりました。

小林源一さんは 30 数年の長い間、会長としてはもちろんの事、山行計画、山行報告の管理、遭対基金の取り扱い、対外的な折衝等々、会運営のすべての面で中心的な役割を果たし来られ、その功績には測り知れないものがあります。改めて小林さんの長年のご苦労を労い、感謝の言葉を贈りたいと思います。

源ちゃん本当にご苦労さんでした。これからも元気で一緒に頑張りましょう。  
(記・桑原)

### ありがとう 源さん ～これからも『重連機関車』として引っ張って下さい!!

桑原さんの『讃える～』にある通り、7 月 12 日、前大町労山会長小林源一さんへの感謝と慰労の会が開催されました。周智の通り、小林さんには約 30 年の長きにわたり会長として会の運営と発展のためにご尽力頂きました。

会は長老の桑原さんの乾杯と挨拶により始まり、現会長の谷口さんから小林さんに記念のお酒が進呈され、宴は焼肉パーティーで夜遅くまで続きました。(記・宮島)

## 山行報告 「ヒヤリ！」とした針ノ木雪渓 谷口伸二 さん

日時；7 月 6 日(日) 参加者；谷口、鈴木、尾形、桑原、横田、小松原(利) 6 名  
コースタイム；扇沢登山口(7:00)→(8:05)大沢小屋(8:20)→(11:20)針ノ木小屋(12:10)  
→(13:40)大沢小屋(13:55)→(15:00)扇沢登山口

今年は天気に恵まれず 6 月 8 日と 13 日の 2 度中止した針ノ木雪渓に、三度目の正直を期待しつつ針ノ木岳を目指す。

天気予報では午前中は良いが午後には崩れてくるとのことなので、個人的には『とりあえず峠まで行ってみるか。』との思いで扇沢駐車場を出発する。

いつも通る右岸側の砂防工用道路を歩き終点の堰堤まで来ると、見慣れた丸太の梯子が無く、古い不安定な鉄の梯子があるだけ。『もしかして橋もまだ出来ていないのでは』と思った通り、いつもの所に橋は無い。浅い所を探して渡渉する。

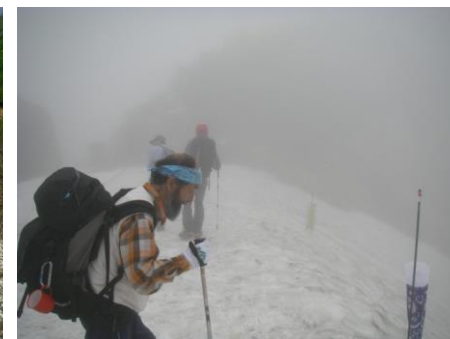
まだ雪渓の雪は多く、大沢小屋の少し上流まで残っており、雪渓の上には道の目印に小さなこいのぼりが立ててあり気持ちがなごむ。

少し雲はあるが青空ものぞき、雪渓の上を歩くのはやっぱり気持ちがいいなー。と思いつつ、歩いていると、突然、右上の沢から雪の上を石が転がってくる。『ラクー、ラクー』の大声。直径 40～50 cm 位の石が車のタイヤを転がすような勢いで目の前を通り過ぎていったと思ったら、今度は 2 個同時に転がってくる。

何とか全員うまくよけて無事だったが、これがツアーのような団体だったら誰かに当たってもおかしくない。当たれば即死だろうと考えるとゾツとした。話には聞いていたが音があまりしない。幸い霧もなく見通しがきいていたので運が良かったのだろう。しばらく歩いてマヤクボ沢との出合。ガスってくる。

霧の中をひたすら登り 11:20 に針ノ木小屋に到着。天気の回復が見込めないのでお昼を食べて下山とする。ガスって見通しのきかない雪渓の上の下山は再び後ろから落石が来ないかと心配しながらの気持ちの悪いものでした。何はともあれ全員無事帰還し良かったです。(記・谷口)

P1



## 山行報告 鹿島槍ヶ岳めざし、初めてのテン泊 臼井あやさん

参加者；臼井、鈴木、谷口 3名

コースタイム；

7月3日：7時過ぎ扇沢登山口⇒11時頃種池山荘⇒14時半頃冷池山荘テン場

7月4日：7時過ぎ冷池山荘テン場⇒10時種池山荘⇒12時半扇沢登山口



初めてのテン泊にワクワクドキドキ、目指すは初の鹿島槍。ほとんどの荷物を担いでもらっているとはいえ 13 キロのザックは肩にグッとくる。

梅雨空の天気は微妙だが、雨は降っておらず、それだけでもありがたい。今回、道中では雨にほとんど降られなかった。

爺ヶ岳までは幼い時に登っているが、山に興味がなかったのか記憶がない。柏原新道はよく整備され登りやすい道。シーズン間近のこの時期にすれ違う登山者はさすがに少ない。

途中、雪渓をトラバース。落ちるとただではすまない。親切にも道に注意の看板まである。足元に集中してそそくさと通り抜ける。フー。湿気と暑さから汗が半端じゃない。そうこうしている間に種池山荘に到着。稜線にでると一気に寒くなる。視界はない。

種池山荘からの稜線歩きはやはりガスの中。爺ヶ岳山頂もなんの眺望もなく感慨も少ない。しかし、ゆっくり着実に歩を進め、一日目の目的地、冷池山荘に無事到着。この頃になって雨が降りだした。ラッキー!!

テント泊が決まった時に私は『食事担当ネ』と軽く任されたが、山でご飯を作ったことはなく、しかも料理も得意ではない。山の上でご飯がまずいのはちょっとな～と、かなり心配していた。夕食は鍋をチョイスするが、鍋と言えば下界の飲み会のイメージしかない私の料理。皆、腹をくだしていなかっただろう。まあ、鍋で失敗は聞いたことないから大丈夫だっただろうと思込む。

テントを張る時からずっと雨。テントのなかは自由だけどやっぱり晴れてくれたらと思ってしまう。

翌日は5時起床。雨は上がっていた。ほんの束の間晴れて雲海がとてもキレイだった!! ここぞとばかりにカメラのシャッターをきる。やっぱり山の天気は読めないなあ。読めるようになりたいなあ…。

雨上がりが遅かったため、時間に余裕なく、鹿島槍へのアタックは諦め、のんびり下山。扇沢からの帰りの車の中から子熊を発見。あまりの可愛さに騒いでしまった。車の中だったから良かったのだけど…。

鈴木さん、谷口さんのお蔭でテン泊を初体験できて良かった。歩くなかで、鈴木さんには色々山登りの知恵を教えていただき、実践のなかで勉強させていただきました。

山で美味しいご飯を作れるようになりたい。レパートリーを増やしたいと、とりわけ食への意欲がでた山行となりました。

## 硫黄岳

臼井あやさん

6月13日、蓮華岳に登る予定が天候不良のため、燕岳に変更して中房温泉まで行ったが、ここも雨だったので、最終的に八ヶ岳へ変更。桜平～硫黄岳～夏沢峠～桜平。長いドライブ、凸凹道の果てに登山口へ到着。

どうしても登りたい私のわがままに、お二人に付き合ってください感謝です。

初めての八ヶ岳に期待したがやはり天気は思わしくなく、途中、山小屋で休憩中に突然の豪雨。おいおい!! 少しビビるが、その後雨はすぐ止み、まだ雪の残る樹林帯を黙々と進む。

稜線に出ても強風にガス。八ヶ岳の全貌はガスの中で何も見えないし、寒い。お手軽に行けてしまうがそれなりの標高があるんだと今更ながら実感する。無事下山できて良かった。鈴木さん、谷口さんには色々と雪道の歩き方など教えていただき勉強になりました。

登山口の駐車場に着く直前、カモシカ君とバッテリー。天気良い時にまた来いよ!と温かく見送ってくれました。





続々登場・今月のニューフェイスさん！ 大町市在住 内藤 雪絵さん

新潟市出身、内藤雪絵です。

信州に来て5年目、大町は春に来たばかり。

家から見える北アルプスを始め、信州の山全部に登ってみたいと思っています。是非皆さんと、山の楽しみを共有させて下さい!!

体力はなくても、欲はあります。よろしく願い致します。

早速、山行報告を頂きました。

2014年7月6日(日)

梅雨時ではあるが、この時期、ウルップ草の群生がすばらしかったと聞いていたので、白馬岳を計画。前日、雨だったこともあり、猿倉荘Pには10台ほどしか車がなくて、閑散としていて、7時15分に歩き始める。

白馬尻小屋までの登山道には、キヌガサソウが咲いていて、可愛らしかった。小屋を過ぎてからアイゼンを着け、いよいよ雪渓歩きが始まる。落石も多く見えていたので、落ちてこないことを強く祈った。途中、山肌にシラネアオイが咲いている。

葱平のあたりでアイゼンを外していると、後ろからベンガラをまきながら登ってくる人がいて、聞くと前日に事故があったとのこと。間違っって右手の第二雪渓の方へ入った登山者が50mほど落ちて、尾てい骨をやられたという。

ベンガラが切れているところがあって、その登山者は、そこに入ってしまったと話したので、繋げに来たと言っていた。確かに、今日のようにガスが多いとベンガラの印はありがたいと思った。

しばらくは夏道を歩くが、またすぐに小雪渓からアイゼンを着けた。村営宿舎まで、ほとんど雪だった。ガスで先が見えなかったが、ふとガスが途切れたときに、目の前にドーンと村営宿舎が見えて一安心。ハクサンイチゲとウルップ草も周りに出てきて、疲れも吹っ飛んだ。さあ、宿舎に着くぞというとき、視線を右にやると、ウルップ草がたくさん咲いていて、到着したことを歓迎してくれているよううれしかった。13時40分。

雨にもあたらず、無事に着けた安心感で、テン場に向かうと、宿舎裏手からテン場までのところで、ウルップ草がびっしり咲いていて、一面紫色になっていてすばらしかった。稜線にも行って見たが、そちらはまばら。10年前には旭岳の方もずっと咲いていたそうなので、時期が早いか遅いか、数が減ってしまったのかと思うが、10年前を知らない私には充分楽しめた。

テント内で夕食をとっていると、雨が降り始める。シュラフに入って横になったが、だんだんと雨が激しくなり、翌日が不安になってくる。目が覚めるたびに雨音を確認。朝方にはだいぶ強くなっており、下山することにした。

こんな大雨の中、雪渓を下るのかと不安になるが歩くしかない。7時45分出発。雨は弱まらず、びしょ濡れになって大雪渓を下った。白馬尻小屋でアイゼンを脱ぐと、とにかくほっとした。そこから猿倉へも、登山道が川のようになっていて、気を抜けなかったが11時半、無事に猿倉に着いた。

帰りは、「みみずくの湯」で疲れをとり帰宅した。次回は晴れた日に山頂に立ちたいと思った。



氷河時代の名残、ウルップソウ



上：キヌガサソウ／下：シラネアオイ

### 第3回例会報告 6月24日(火)

#### 1; 低体温症について

パワーポイント(スライド上映)を使って、医師作成の資料で学習しました。特に、次のことが強調されました。

- ① 低体温症とは、寒冷にさらされ、心臓や脳など体内のコア温度が35度以下になること、
- ② 体温を奪う要因には、伝導・対流・放射・蒸発の四つがあること、
- ③ 加温は、温かい飲み物や湯たんぽなどで、両脇やそけい部、首などを温めること、
- ④ 低体温症にならないための予防として、重ね着など防寒具・水分、食べ物をしっかり補給すること、
- ⑤ 震えが始まったら低体温の始まりととらえ、風邪など他の原因と思わず、保温など早期に対応すること。(我慢すると崖を落ちるように悪化する)  
また、「山溪」「岳人」7月号のコピーをもとに、今年のGWは22人死亡・8人不明など、過去最多であったことなどが、報告されました。

#### 2; 県連各会三役会議の報告

奥穂遭難報告は、中間報告書の段階で6月末を目途に準備している。

山行計画書は、合宿やハードな山行、バリエーションなどは、県警に提出した方がよい。

山岳医でもある相沢病院の上條医師(安曇野市で開業中)が、防災ヘリと県警のヘリ、ドクターヘリの違いや、ヘリを要請する遭難の実態などについて講演

#### 3; 第2回例会後の山行報告

- ① 5/31(土)~6/2(月) 前穂北尾根: 勝野ほか県連有志
- ② 6/1(日) 米山: 森田・宮島・桑原・津田・鶴川栄子・鶴川栄・石井ひ
- ③ 6/8(日) 蓮華岳→雨天中止
- ④ 6/13(金) 硫黄岳: 鈴木・臼井・谷口 ←蓮華岳を変更
- ⑤ 6/14(土)~15(日) 常念~蝶ヶ岳: 横田
- ⑥ 6/19(木) 唐松岳: 鈴木
- ⑦ 6/19(木)~20(金) 守門岳: 谷口・宮島 ←平ヶ岳を変更
- ⑧ 6/20(金)~22(日) 富士山: 勝野・小山ほか

4; 当面の山行計画(略)

5; その他

- ① 全国連盟女性委員会主催で、8/1日(金)~4日(月)、福島のこどもたち20名が小谷・白馬に来る。3日(日)の「白馬グリーンスポーツの森」での川遊びに大町労山への協力依頼があり、4名参加することになりました。
- ② 夏合宿は、8/22日(金) 5時ヒビラ穂高発で、昨年計画通りのコース(新穂高温泉~双六小屋泊~槍肩の小屋泊~新穂高温泉)を確認しました。会員の積極的な参加を呼びかけます。(小屋泊・テント泊いずれも可)

### 『ごんぞ』の発行について ~拡大役員会から

方針

- 1; 基本的には従来の文集形式を踏襲する。
- 2; 全会員に1つ以上の記事を書いてもらうことを目指す。

テーマは自由

山行報告(2014年に限らず、過去の山行記録、若き日の山の記録も可)

我が山旅、憧れの山、原点の山等、山への思いを...

山弁当・行動食~私の定番等、自由なテーマで

その他、日々雑感、主張等、何でも可

#### 当面の予定 8月の例会・拡大役員会は前倒しします

7月例会	7月22日(火)	
8月拡大役員会	8月5日(火)	1週早めます
8月例会	8月19日(火)	同上

夏山合宿~8月23日(金)~25日(日)

双六岳・樺沢岳・槍ヶ岳・中岳・南岳 etc

その他の個人山行

アルプスへ、北海道へ、ヨーロッパへと多彩な計画が予定されているようです。くれぐれも安全登山で楽しくネッ!!